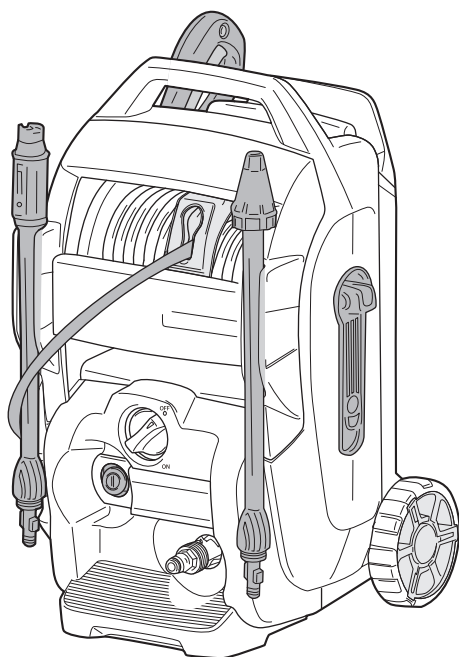


高圧洗浄機 AJP4210GQ

バルブ式
自吸機能付

取扱説明書

保証書付



もくじ

■安全上のご注意	1 ~ 7
■梱包明細	8
■各部の名称・用途	9
■仕様・別販売品	10
■ご使用前の準備（水道水を使用する場合）	11 ~ 16
■使用方法（水道水を使用する場合）	17 ~ 22
■ご使用前の準備（自吸で使用する場合）	23 ~ 26
■使用方法（自吸で使用する場合）	27 ~ 34
■操作方法	35 ~ 40
■保守と点検	41 ~ 45
■収納	45
■保管方法	46
■故障かなと思ったら	47 ~ 49
■保証書	裏表紙

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△ 警告」と「△ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 「△ 警告」・「△ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

 ：警告 本機を使用する前に、必ず取扱説明書を最後までお読みください。

警 告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所での作業は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 高圧洗浄機は、雨ざらしにしたり、雨中で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 高圧洗浄機は周囲に人がいる状態で使用しないでください。
 - ・ 作業員以外、高圧洗浄機やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、高圧洗浄機的能力に合った作業をしてください。

警告

7. **きちんとした服装で作業してください。**
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
 - ・ 作業中は、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. **防音保護具を着用してください。**
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
9. **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - ・ コードを持って高圧洗浄機を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
10. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
11. **高圧洗浄機は、注意深く手入れをしてください。**
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、常に手入れをしてください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
12. **次の場合は、高圧洗浄機のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
13. **不意な始動は避けてください。**
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。コンセントにさし込むと同時に電源スイッチが入り、けがの原因になります。
14. **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
15. **油断しないで十分注意して作業を行なってください。**
 - ・ 高圧洗浄機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

警告

16. 十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。

- ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

17. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

18. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

- ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない高圧洗浄機は、使用しないでください。
- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。

そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

19. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。

20. 高圧洗浄機の修理は、専門店に依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

21. 必ずアース（接地）してください。

- ・アースしていないと感電の原因になります。

警告

22. アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 爆発のおそれがあり、事故の原因になります。
23. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、過負荷による発熱、火災の原因になります。
24. 本機に向かって噴射したり、水をかけたりしないでください。
雨中で使用しないでください。またぬれた手で、電源プラグや延長コードに触れないでください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
25. 定格 15A 以上のコンセントを単独で使ってください。
 - ・ 他の器具と併用すると、分岐コンセントが発火炎上する場合があります。
26. 本機は水道の蛇口からの給水と水槽からの自吸が可能です。自吸で使用するときは必ず付属品の自吸キットを取付けて使用してください。
27. ガソリン、オイル、有機溶剤などの可燃性液体や農薬、有害液体、その他不適当な液体は使用しないでください。
 - ・ 事故または故障の原因や発火炎上する場合があります。
28. 酸性、アルカリ性洗剤は使用しないでください。洗剤は中性洗剤のみ使用してください。
 - ・ 酸性、アルカリ性の洗浄剤または化学薬品を使用すると、機械の安全性に悪影響を与えることがあります。
29. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた 3 芯コードで機械の能力に合った、十分な太さの延長コードを使用してください。
(12 ページ『●延長コードを使用する場合』参照)
30. 水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
 - ・ 高圧の水でけがをするおそれがあります。
31. ガンのレバーを、ひもや針金などで固定して使用しないでください。
 - ・ とっさのとき、噴射を停止することができず、けがの原因になります。
32. 両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用してください。
 - ・ 確実に保持していないと、バランスを崩し、けがの原因になります。
33. 噴射の方向に人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などがないことを確認してから作業してください。
 - ・ ガンのノズルからは、高圧水が噴射され、けがや破損の原因になります。
34. 衣服または履物類を洗浄するために、ノズルを自分自身または他人に向けてしないでください。
 - ・ 高圧水が噴射され、けがの原因になります。
35. 対象物に損傷が生じるおそれのある場合は、目立たない所で試してから使用する、ノズルからの距離を置いて様子を見ながら洗浄するなど慎重に作業してください。

警告

36. 車のタイヤを洗浄するときには、ノズル先端から最低 30cm 以上離して洗浄してください。
 - ・ 接近しすぎた場合、タイヤを損傷し、重大事故の原因となる場合があります。損傷、または表面の色が変色した場合には、直ちに専門家に点検を依頼し、安全を確認した後、使用してください。
37. 車などの足まわりなどを洗浄するときは、グリス塗布部分やカバー部分などに直接噴射しないでください。
 - ・ グリスなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる場合があります。
38. 作業を中断するときや付属品を交換するときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 誤ってガンのレバーを握ると、けがの原因になります。
39. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
 - ・ けがや故障の原因になります。
40. 電源スイッチを切った後は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてください。圧力が残っていると、ガンから高圧な残水が噴射され、けがの原因になります。
 - ・ 高圧ホースを本体から外す場合は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてから外してください。
 - ・ ノズルの噴射口が人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向いていないことを確認してから、圧力を抜いてください。
41. 次のような人、または状況下では使用しないでください。安全な作業ができないため、けがの原因になります。
 - ・ 子供または操作に不慣れな人は使用しないでください。
 - ・ 疲れているとき、病気のとき、酔っているときは使用しないでください。
 - ・ 薬物の影響、その他の理由で正常な操作ができない人は使用しないでください。
42. 高圧ホースを傷つけないでください。また、高圧ホースに向かって噴射しないでください。
 - ・ 高圧ホースを傷つけると破損する可能性があり危険です。傷、変形を発見した場合は新しい高圧ホースと交換してください。
43. 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
 - ・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。

⚠ 注意

1. 本機は水のかからない、水平で安定した場所に設置してください。
 - ・故障の原因になります。
2. 本体を倒して使用しないでください。
 - ・事故や故障の原因になります。
3. 本機を誤って落としたりぶつけたりしないでください。故障の原因になります。
 - ・落としたりした場合は、本機に異常がないか確認した後、使用してください。
4. 凍結に注意してください。
ポンプ内に水が残っている状態で凍結する場所に放置しないでください。
 - ・ポンプの破損と故障の原因になります。
5. 飛散物が目に入るような洗浄作業をする場合は、メガネなどの保護具を着用してください。
6. 作業する際は、ガンを両手で確実に保持してください。
 - ・ガンを両手で確実に保持していないと、反動で先端部が跳ね上がり、けがの原因になります。
7. 噴射の際は、ラベルなどに直接噴射をしないでください。
 - ・水圧により、ラベルなどがはがれる原因となることがあります。
8. 車の洗浄は、バリアブルノズルランスを拡散側にして使用してください。
 - ・水圧により塗装面を傷めたり、ラジエターの破損、モールなどが剥がれる場合があります。
9. 作業中の本体設置場所に注意してください。
 - ・本体から1分間に数滴程度の水漏れが発生することがありますが、異常ではありません。
10. 高圧ホースはホースリールから全て引出して使用してください。引出すときは、本体のハンドルを押さえてゆっくりと引出してください。
 - ・ホースリールに巻いた状態で使用すると、圧力不足や異常振動の原因になります。
11. 高圧ホースを折らないでください。また、高圧ホースはまっすぐに延ばして使用してください。
 - ・高圧ホースが折れると高圧ホースの耐圧力が低下し、破裂する可能性があり危険です。高圧ホースの折れを発見した場合は新しい高圧ホースと交換してください。
 - ・高圧ホースを巻いたまま引っ張ると高圧ホースが折れて破裂する可能性があり危険です。
 - ・摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利、碎石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合には、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。
 - ・ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。
12. 自吸で溜水を使用するときは、ゴミ、砂など混じった水は使用しないでください。（付属品の自吸キットを使用）
 - ・故障の原因になります。

⚠ 注 意

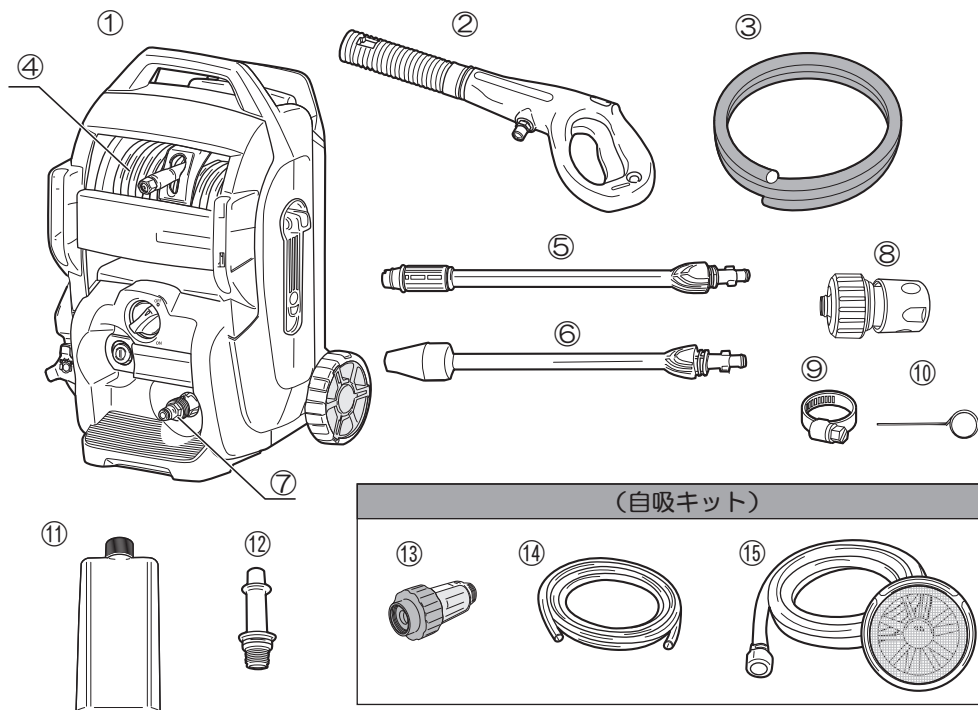
13. 使用後、または停電のとき、点検・整備するとき、高圧洗浄機から離れるときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

梱包明細



(自吸キット)

No.	名 称	数量	No.	名 称	数量
①	本体	1	⑩	ノズルクリーナーピン	1
②	ガン	1	⑪	オイル (100mL)	1
③	吸水ホース 3m	1	⑫	オイルノズル	1
④	高圧ホース 15m (プロ仕様) (本体巻付)	1	⑬	自吸フィルター	1
⑤	バリアブルノズルランス	1	⑭	エア抜きホース (3m)	1
⑥	ターボノズルランス	1	⑮	自吸ホース (ストレーナー付)	1
⑦	吸水コネクター (本体取付)	1	—	取扱説明書 (本書)	1
⑧	ワンタッチジョイント	1	—	かんたんガイド	1
⑨	ホースバンド	1			

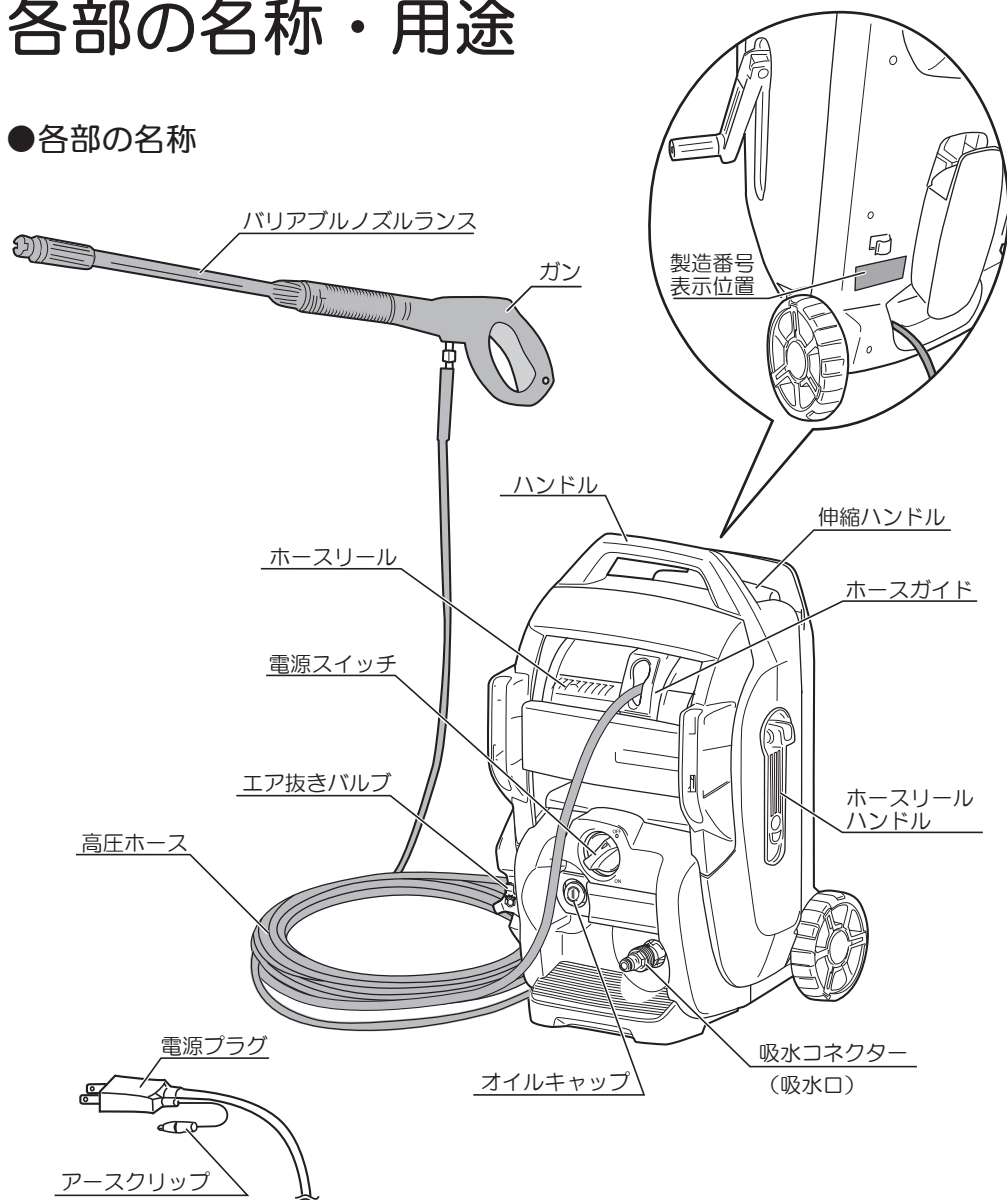
本機は、ご使用前に組立が必要な部品があるため、次の工具を用意してください。

必要工具：⊕ドライバー、 スパナ (対辺 17mm)

※改良のため部品の形状、色調が異なることがあります。

各部の名称・用途

●各部の名称



●用途

- ・自動車、バイクの洗浄
- ・壁、塀、玄関周りの洗浄
- ・厨房の床の洗浄
- ・小型の農業機械の洗浄
- ・小型の建設土木機械の洗浄

仕様・別販売品

●仕様

周波数※ ¹	50Hz	60Hz
電源	単相・交流 100V	
定格電流	12.5A	
消費電力	1,200W	
吐出圧力	7.5MPa	
最大許容圧力※ ²	11.0MPa	
吐出水量	6.0L/min	
最大吐出水量※ ³	6.5L/min	
最大給水圧力	0.6MPa	
許容水温	40℃以下	
給水方式	水道 / 自吸	
吸い上げ高さ	1m	
本体寸法（長さ×幅×高さ）	367 X 368 X 591 (923) ※ ⁴ mm	
コード長さ	5m	
質量（本体のみ：高圧ホース含む）	18.7kg	
手腕振動値	aH ≤ 2.5m/s ²	

※1 本機は周波数 50Hz 用、60Hz 用があります。

ご使用前に電源周波数と本機の周波数（銘板に表示してあります）をご確認ください。

※2 最大許容圧力 …… ポンプの能力の限界圧力

※3 最大吐出水量 …… ポンプが吐出できる最大の水量

※4 () 内の数値は伸縮ハンドルを伸ばした時の高さです。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

●別販売品

- 高圧洗浄機の別販売品（アクセサリ）として、延長高圧ホース、パイプクリーニングキットなどを用意しております。

別販売品の詳細と活用方法については、当社ホームページの高圧洗浄機のサイトまたは電子カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。

- 別販売品は予告なく変更することがあります。

<高圧洗浄機サイト>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/ajp/>



<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



ご使用前の準備（水道水を使用する場合）

●漏電しゃ断器について

- ・ ご使用前に、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。

●設置場所について

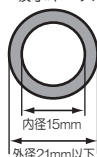
- ・ 使用中（吸水コネクター着脱時等）に水が漏れることがあります。そのため、水漏れしても大丈夫な場所でご使用ください。

●吸水ホースの用意（市販品を使用する場合）

- ・ 本機には、吸水ホース（3m）とホースバンドを付属しておりますが、市販のホースをご使用になる場合は、水道の蛇口から、本体の設置場所までの距離に応じた長さの市販のホース（内径 15mm・耐圧タイプ）を用意してください。市販のホースバンドを使用するなど蛇口の形状に合った接続方法で、しっかりと蛇口とホースを接続してください。

※ 自吸で使用するときは、必ず付属品の自吸キットを取付けて使用してください。

吸水ホース



●蛇口の確認

- ・ 蛇口口金は、水道栓が埋込んである場合や、下図以外でも取付けられないものがありますのでご注意ください。

適合蛇口タイプ ○			非適合蛇口タイプ ✕		
横水栓 	万能水栓 	自在水栓 	丸蛇口以外のタイプ 	立水栓（四角タイプ） 	ネジ式タイプ 
横水栓 	ホース接続水栓 	ホース接続水栓 			

外径16mm

●延長コードを使用する場合

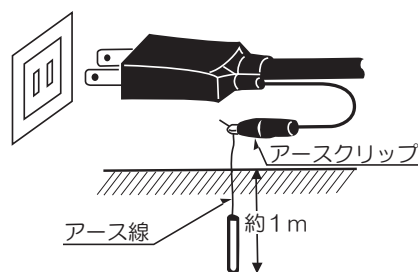
- ・電圧降下や過負荷によるモーター焼けを防ぐため、出来る限り延長コードを使用せず、高圧洗浄機の電源プラグを直接電源コンセントにさし込んでください。
延長コードが必要な場合は、アースを備えた 3 芯コードで、表に準じた工具用のキャブタイヤコードを使用してください。
- ・リール（巻取りタイプ）で使用する場合は、リールに巻かれているコードをすべて引出した状態で使用してください。

延長コードの太さ	延長コード長さ
2mm ² 以上	20m 以下

※延長コードを使用すると、能力が低下します。

●アースについて

- ・感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。

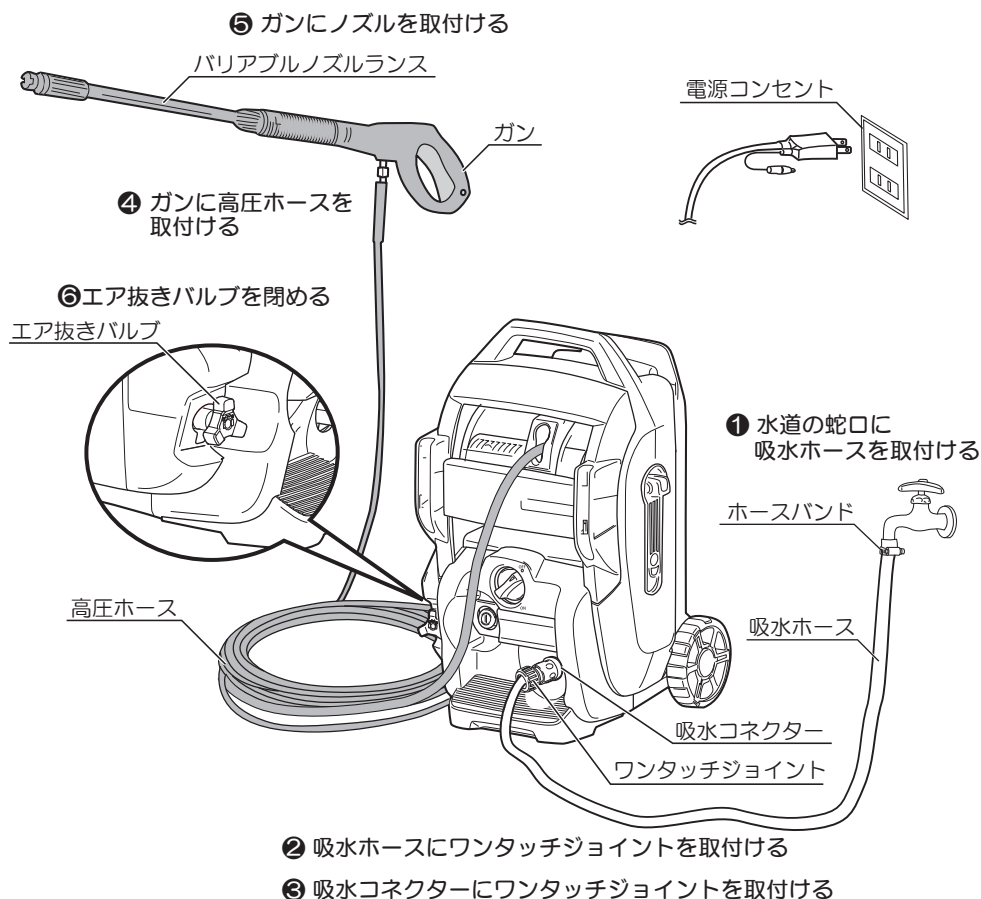


ご使用前の準備（水道水を使用する場合）

⚠ 警告

- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ ノズルの噴射口を人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向けないでください。高圧水が噴射し、けがの原因になります。

取付けには、⊕ドライバー、スパナ（対辺 17mm）が必要です。ご用意ください。
次の手順ですべての部品を正しく取付けて、安全に洗浄を行なってください。

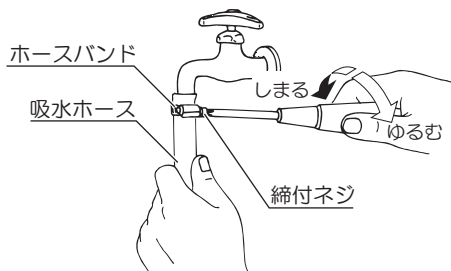


① 水道の蛇口に吸水ホースを取付ける



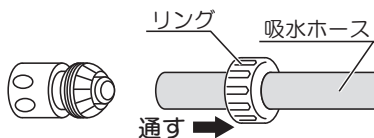
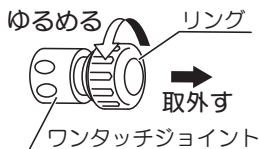
- ・蛇口、ホース、ホース内にゴミや泥が付いていたら取除いてください。ホースは取付ける前に一度、水を流してください。ポンプ内にゴミや泥が入ると故障の原因になります。
- ・必ず水道の蛇口から直接水を供給してください。温水（40℃以上）や温泉水などを使用すると故障の原因になります。

1. 吸水ホースにホースバンドを通し、水道の蛇口にさし込みます。
2. 締付ネジを⊕ドライバーで締付けて固定します。



② 吸水ホースにワンタッチジョイントを取付ける

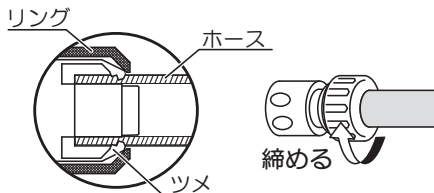
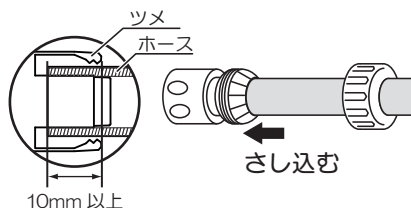
1. ワンタッチジョイントのリングをゆるめ、取外します。
2. 吸水ホースにリングを通します。



3. 吸水ホースを図のようにワンタッチジョイントのツメの先端から10mm以上さし込みます。
4. リングを回してしっかり締付けると、ツメで吸水ホースが固定されます。



ドライヤーなどで吸水ホースを暖めるとさし込みやすくなります。

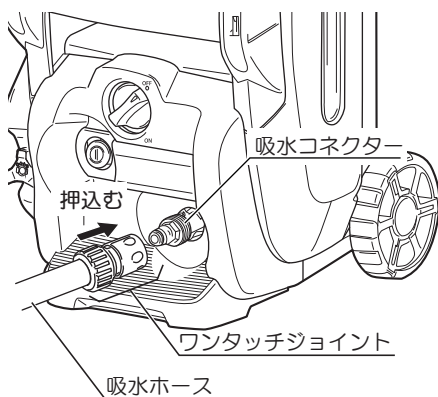
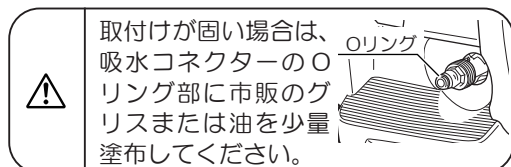
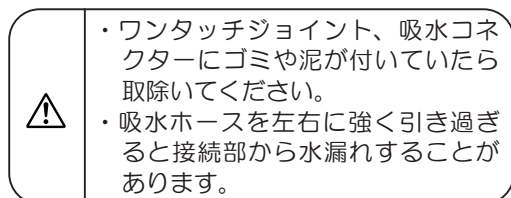


ワンタッチジョイントには弁が付いています。吸水コネクタに接続しないと、水は流れません。

ご使用前の準備（水道水を使用する場合）

③ 吸水コネクタにワンタッチジョイントを取付ける

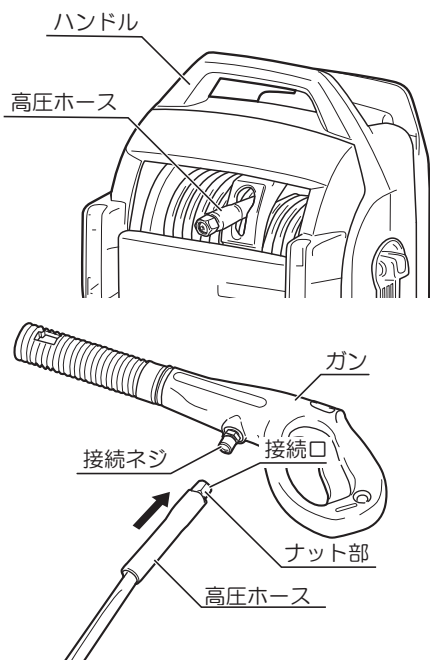
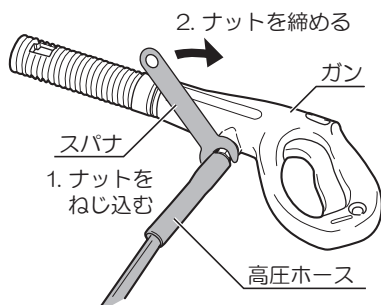
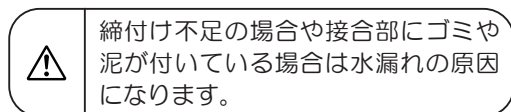
- 吸水コネクタにワンタッチジョイントを「カチッ」と音がするまで押込みます。



④ ガンに高圧ホースを取付ける

- 本体のハンドルをしっかりと押さえて、高圧ホースの先端を持って引出してください。

- ガンの接続ネジに高圧ホースのナットをねじ込み、スパナ（対辺 17mm）でナットを確実に締付けてください。



⑤ガンにノズルを取付ける

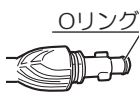
- ノズルの凸部をガンの凹部にさし込み、強く押しながら矢印方向に回して取付けます。



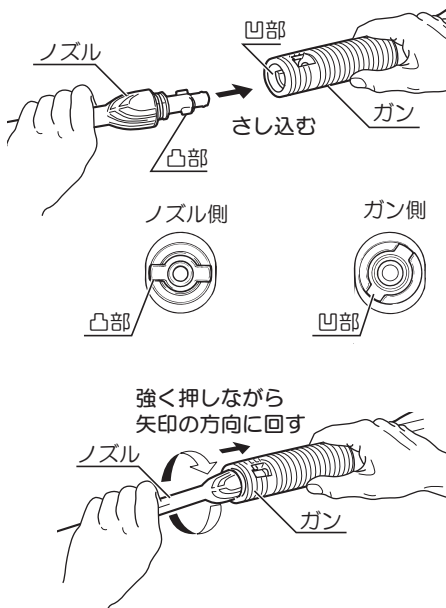
取付ける前にガン凹部、ノズル凸部にゴミや泥が付いていたら取除いてください。



取付けが固い場合は、ノズルのOリング部に市販のグリスまたは油を少量塗布してください。

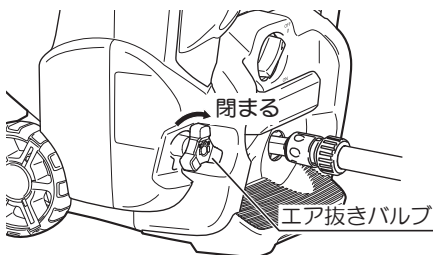


取付けた後は、ノズルを引っ張って抜けないことを確認してください。



⑥エア抜きバルブを閉める

- エア抜きバルブのノブを矢印方向に回して閉めます。



使用方法（水道水を使用する場合）

警告

- ・必ずアース（接地）してください。アースしていないと感電の原因になります。
- ・噴射の方向に人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などがないことを確認してから作業してください。ノズルから非常に高圧の水が噴射され、けがの原因になります。
- ・対象物に損傷が生じるおそれのある場合は、目立たない所で試してから使用する、ノズルからの距離を置いて様子を見ながら洗浄するなど慎重に作業してください。
- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、電源スイッチが切れていることを確認してください。コンセントにさし込むと同時に電源スイッチが入り、けがの原因になります。
- ・両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
- ・ガンのレバーをひもや針金などで固定して使用しないでください。とっさのときに噴射を停止することができず、けがの原因になります。
- ・使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、過電圧による発熱、火災の原因になります。
- ・車などの足まわりなどを洗浄するときは、グリス塗布部分やカバー部分などに直接噴射しないでください。グリスなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる場合があります。
- ・本体を倒して使用しないでください。事故や故障の原因になります。

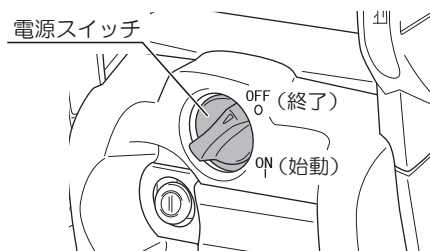
注意

- ・電源スイッチを入れる場合は、必ずガンのレバーを引き、ノズルを安全な方向に向けてからスイッチを入れてください。
- ・使用中に本体下部から少量の水漏れが発生することがありますので、設置場所に注意してください。
- ・摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利、碎石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合には、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。
- ・ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。
- ・作業を行なう前に、高圧ホースはまっすぐに伸ばして使用してください。
- ・車の洗浄は、バリアブルノズルランスを拡散側にして使用してください。水圧により塗装面を傷めたり、ラジエターの破損、モールなどが剥がれる場合があります。

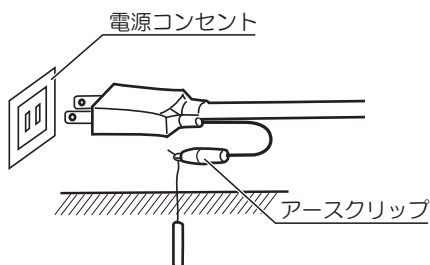
始動する

① 電源スイッチ『OFF』を確認する。

- 電源スイッチが『OFF』になっていることを確認して電源プラグを電源コンセント（単相交流 100V）にさし込み、アースを接地してください。



- 本機の周波数と使用する電源の周波数が一致していることを確認してください。
- できる限り延長コードを使用せず本体の電源プラグを電源コンセントに接続してください。延長コードを使用すると電圧降下が発生し、十分な性能を発揮しない場合があります。延長コードを使用する場合は、12ページを参考にしてください。
- 本体の電源コードを強く引き過ぎるとコードが断線するおそれがあります。



② 水道の蛇口を全開にする。



- エア抜きバルブが閉まっていることを確認してください。
- 水量は 6.5L/min 以上必要です。水量が少ないと本機的能力を十分発揮できません。

③ 高圧ホースを全て引出す。

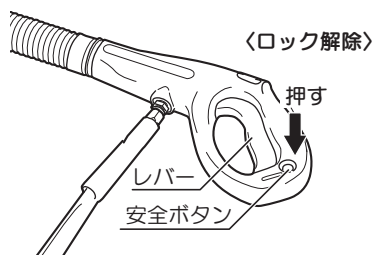
（38 ページ『●高圧ホースの引出し』参照）

④ ガンのレバーのロックを解除する。

- ガンの安全ボタンを押して、ロック（固定）を解除します。



ロックがかかっているとレバーが引けません。

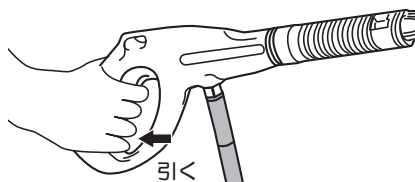


使用方法（水道水を使用する場合）

⑤ ガンのレバーを引き、ノズル先端から水を出す。

- 電源スイッチを入れる前に、レバーを引いてホースやポンプ内部の空気を完全に抜いてください。

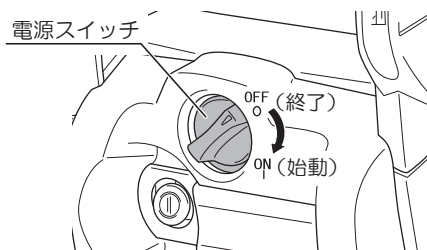
※ノズルを取外して、レバーを引けば、早く空気を抜くことができます。



ホースやポンプ内部に空気が残った状態で電源スイッチを入れると圧力が上がらない、モーターが停止しない、ポンプが焼損するなど故障の原因になります。

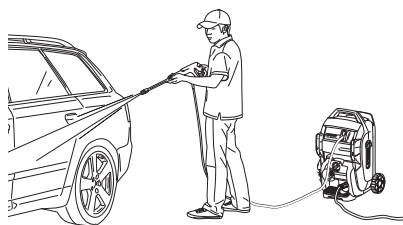
⑥ ガンのレバーを引いたまま、電源スイッチを『ON』にする。

- ガンのレバー引き、ノズル部から水がスムーズに出ようになったら、電源スイッチを『ON』にします。



⑦ ガンのレバーを引いて洗浄作業をする。

- ガンのレバーを放すとモーターが停止します。再びレバーを引くとモーターが回転し、水を噴射します。（圧力スイッチ内蔵）



- 摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利、碎石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合には、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。
- ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。
- 作業を行なう前に、高圧ホースはまっすぐに伸ばして使用してください。
- 噴射開始時は、ポンプ内やホース内に溜まった空気と一緒に放水されるため、水の出方が不安定になることがあります。その際は、安定するまで出し続けてください。
- 本体のそばを離れるときは、必ず電源スイッチを切ってください。
- ガンのレバーを引いたり放したりする操作は3秒以上の間隔をあけてください。3秒以下で操作すると圧力スイッチが誤作動する場合があります。

終了する

⚠ 警告

- ・作業を終了する場合は、万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ご使用後は速やかに水抜き作業を行なってください。
- ※本製品は水を利用してモーターを冷却しています。

ご使用後、本体が停止した状態では冷却水も循環しませんのでモーターの余熱等により、冷却水の温度が上昇する場合があります。内部の温められた冷却水はそのまま使用されますと外部へ吐出され、また、吸水コネクターから吸水ホースを外されますと、その瞬間、手にかかる場合もあります。

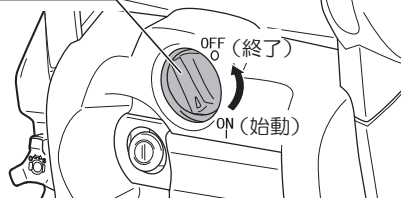
そのため、ご使用後は速やかに水抜き作業を行なっていただくようお願いします。

⚠ 注意

- ・長期保管または冬期は、本体、高圧ホース、ガン、ノズル内に残った水を排出してください。排出が不完全な状態で凍結する場所に保管すると、故障や破損の原因になります。

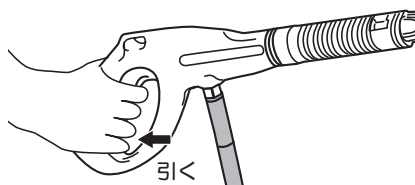
① 電源スイッチを『OFF』にする。

電源スイッチ



② 水道の蛇口を閉める。

③ ノズルの先端から水が出なくなるまで、ガンのレバーを引く。

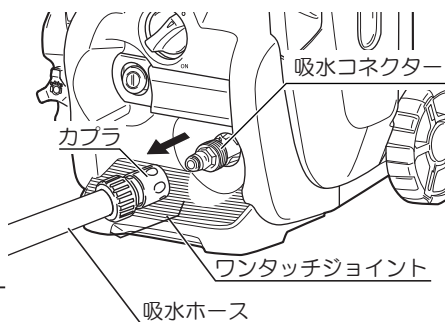


⚠ 警告

- ・万一の事故を防止するため、小休止する場合でも必ず①～③の動作を行なってください。

④ 吸水コネクターから吸水ホースを取外す。

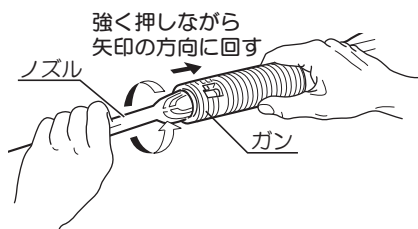
- ・ワンタッチジョイントのカブラを手前（矢印方向）に引いて吸水ホースを取外します。



使用方法（水道水を使用する場合）

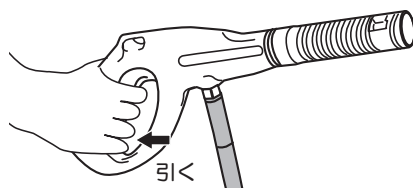
⑤ ガンからノズルを取外す。

- ノズルをガンの方向へ強く押しながら矢印方向に回して、取外します。



⑥ ガンの先端から水が出なくなるまでガンのレバーを引く。

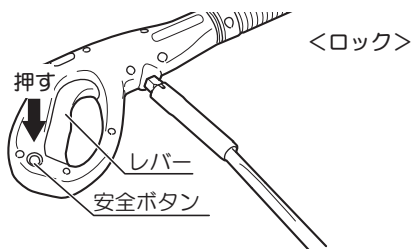
- ※ 電源スイッチをONにして、高圧ホース内の水を出してください。



電源スイッチを『ON』にしたままにすると、故障の原因になりますので、水が出なくなったら速やかに電源スイッチを『OFF』にしてください。

⑦ ガンのレバーをロックする。

- ガンの安全ボタンを押して、レバーをロック（固定）します。



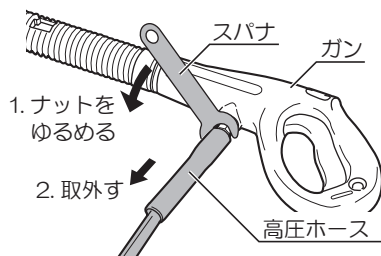
⑧ 電源コンセントから電源プラグを抜く。

⑨ 水道の蛇口から吸水ホースを取外す。

- ホースバンドを⊕ドライバーでゆるめて取外します。

10 ガンから高圧ホースを取外す。

- 高圧ホースのナットをスパナ（対辺 17mm）でゆるめて取外します。

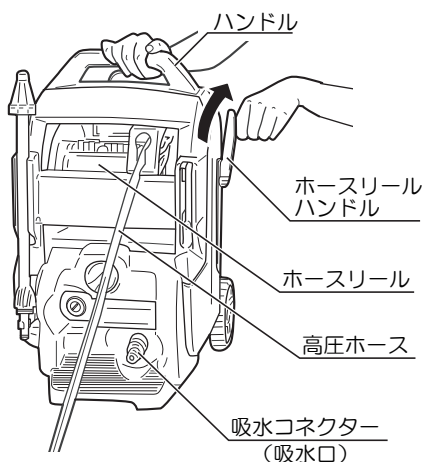


11 高圧ホースを巻取る。

- 高圧ホースの先端をホースリールより低い位置にし、高圧ホース内に残った水を出しながら高圧ホースを巻取ります。



- 本体が倒れないようにハンドルをしっかりと押さえて、巻取ります。
- 高圧ホースのよじれを戻してから巻取ってください。

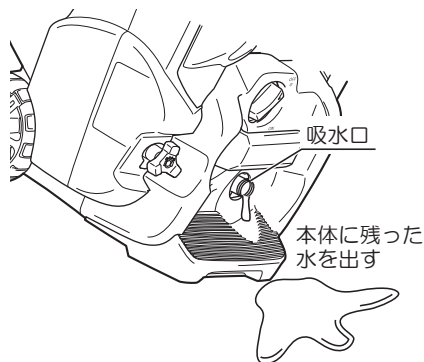


12 本体の水抜きをする。

- 吸水コネクターと本体装着のフィルターを取外してください。
41 ページ『●フィルターの清掃について』参照
- 本体を傾けて、内部に残った水を吸水口より排出します。
- フィルターと吸水コネクターを取付けます。



フィルターは編み目の詰まりやゴミなどを取除いてから取付けてください。



ご使用前の準備（自吸で使用する場合）

●漏電しゃ断器について

- ・ご使用前に、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。

●設置場所について

- ・使用中（吸水コネクター着脱時等）に水が漏れることがあります。そのため、水漏れしても大丈夫な場所でご使用ください。

●延長コードを使用する場合

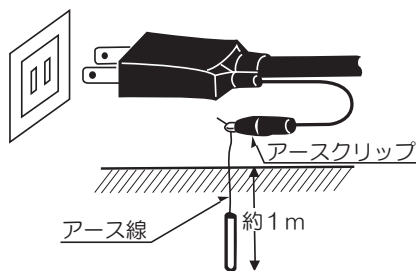
- ・電圧降下や過負荷によるモーター焼けを防ぐため、出来る限り延長コードを使用せず、高圧洗浄機の電源プラグを直接電源コンセントにさし込んでください。
延長コードが必要な場合は、アースを備えた3芯コードで、表に準じた工具用のキャブタイヤコードを使用してください。
- ・リール（巻取りタイプ）で使用する場合は、リールに巻かれているコードをすべて引出した状態で使用してください。

延長コードの太さ	延長コード長さ
2mm ² 以上	20m 以下

※ 延長コードを使用すると、能力が低下します。

●アースについて

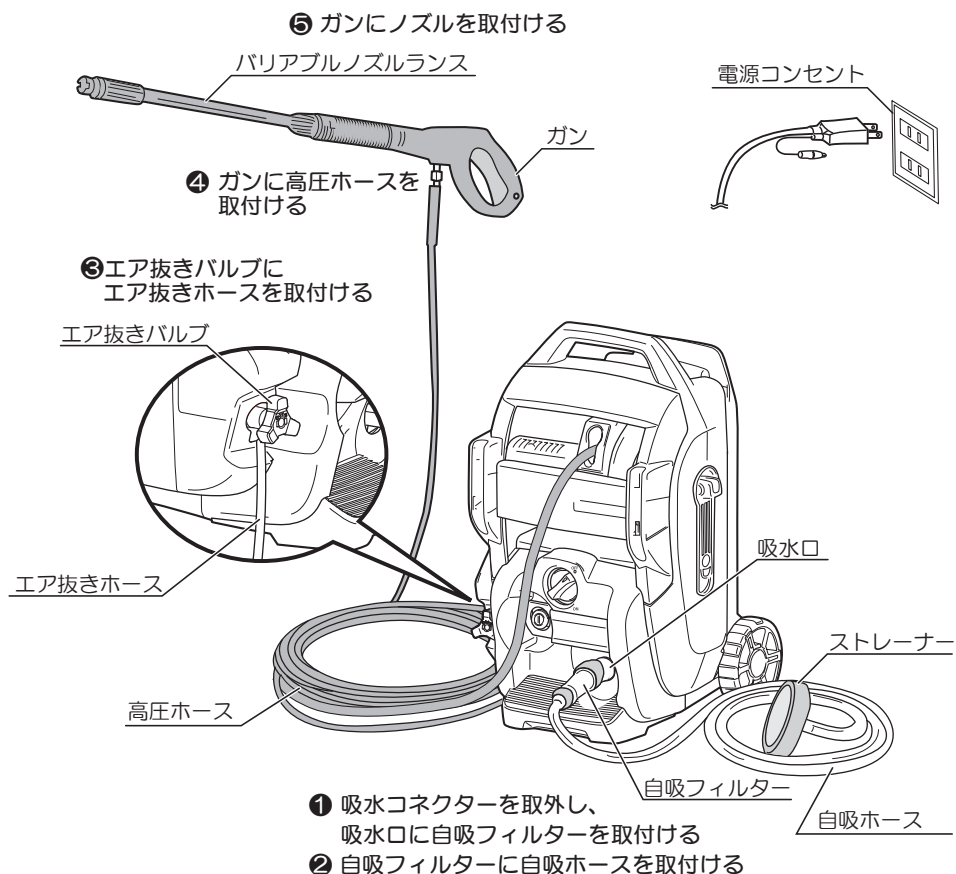
- ・感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要です。ので最寄りの電気工事店にご相談ください。



警告

- ・万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ノズルの噴射口を人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向けないでください。高圧水が噴射し、けがの原因になります。

取付けには、スパナ（対辺 17mm）が必要です。ご用意ください。
次の手順ですべての部品を正しく取付けて、安全に洗浄を行なってください。



ご使用前の準備（自吸で使用する場合）

① 吸水口に自吸フィルターを取付ける

- 吸水口に吸水ホース、吸水コネクターが取付けてある場合は取外してください。
※ 吸水ホース、吸水コネクターは自吸に使用できません。

⚠ 注意

- 自吸キットを取付ける前に自吸フィルター、本体装着のフィルターとストレーナーの清掃を行なってください。ゴミや砂、藻などが付着していると吐出圧力の低下および故障の原因になります。

清掃方法は下記を参照ください。

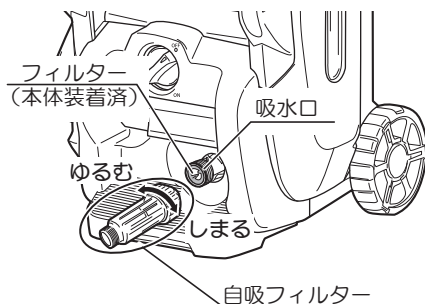
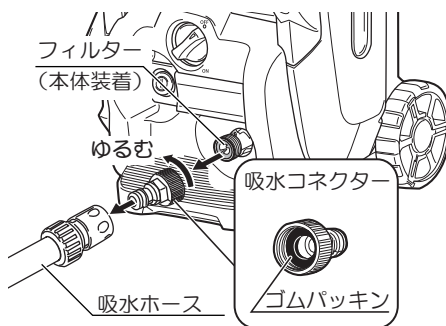
41 ページ『●フィルターの清掃について』

42 ページ『●ストレーナーの清掃について』

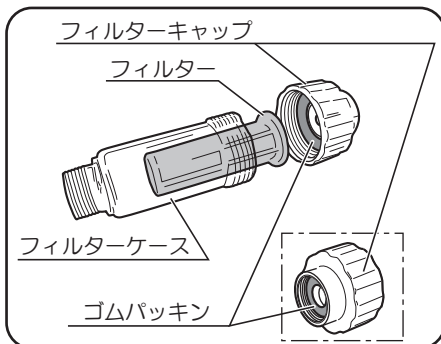
42 ページ『●自吸フィルターの清掃について』

- 自吸フィルターを吸水口にねじ込んで取付けます。

自吸フィルターは、吸水口と正しく平行になるように位置決めし、少しずつゆっくりねじ込み、フィルターキャップを持って確実に締付けてください。（斜めの状態でねじ込むとお互いのネジが正確に噛み合わず、水漏れの原因になります。）



- 必ずフィルターが吸水口、自吸フィルター内に組込まれていることを確認してください。フィルターが無い場合は、異物がポンプ内に侵入して故障の原因になります。
- 吸水コネクターおよび自吸フィルターにはゴムパッキンがついています。取外したときになくさないように注意してください。



自吸ホースを接続しても水を吸わなかったり、通水したあと水漏れが発生する場合、または本体底部より漏れているように見える場合は、次の原因が考えられます。

- ・ 自吸フィルターへのねじ込み度合いが弱い。
- ・ 自吸フィルターが正確に吸水口に取付けられていない。
- ・ 自吸フィルター内のフィルターが正しく組込まれていないためフィルターケースとゴムパッキンに隙間ができています。

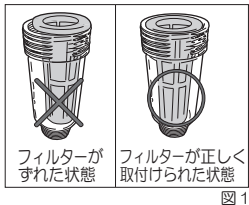
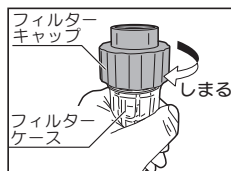


図1



上述の症状が発生する場合は、一度自吸フィルターを本体から取外して以下の要領で自吸フィルターを付け直してください。

1. フィルターキャップをゆるめてフィルターケース内のフィルターが正しく組込まれていることを確認してください。(図1)
2. フィルターを正しい位置に組込んだフィルターケースを垂直に持った状態で、上からフィルターキャップをしっかりと締めてください。
3. 自吸フィルターを吸水口のネジ部に噛み合せてねじ込んでください。
4. それでも水が漏れる場合はさらにきつく締付けてください。

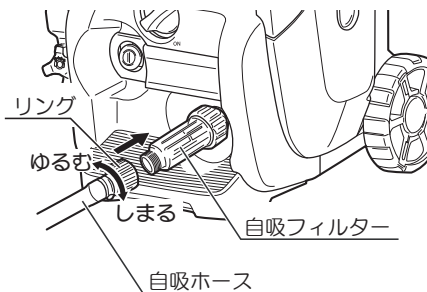


② 自吸フィルターに自吸ホースを取付ける。

- 自吸フィルターに自吸ホースをまっすぐさし込み、リングを回して取付けます。リングは最後までしっかり締付けてください。

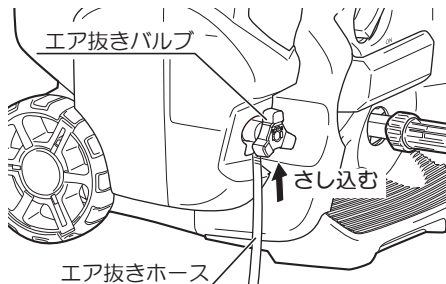


- ・ 自吸フィルター、自吸ホースにゴミや泥が付いていたら取除いてください。
- ・ 自吸ホースを左右に強く引き過ぎると接続部から水漏れすることがあります。



③ エア抜きバルブにエア抜きホースを取付ける。

- エア抜きバルブにエア抜きホースをさし込んで取付けます。



- ガン、ノズルの取付けは 15～16 ページの④～⑤と同じ要領で取付けてください。

使用方法（自吸で使用する場合）

警告

- ・必ずアース（接地）してください。アースしていないと感電の原因になります。
- ・噴射の方向に人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などがないことを確認してから作業してください。ノズルから非常に高圧の水が噴射され、けがの原因になります。
- ・対象物に損傷が生じるおそれのある場合は、目立たない所で試してから使用する、ノズルからの距離を置いて様子を見ながら洗浄するなど慎重に作業してください。
- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、電源スイッチが切れていることを確認してください。コンセントにさし込むと同時に電源スイッチが入り、けがの原因になります。
- ・両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
- ・ガンのレバーをひもや針金などで固定して使用しないでください。とっさのときに噴射を停止することができず、けがの原因になります。
- ・使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用する、過電圧による発熱、火災の原因になります。
- ・車などの足まわりなどを洗浄するときは、グリス塗布部分やカバー部分などに直接噴射しないでください。グリスなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる場合があります。
- ・自吸で使用するときは必ず付属品の自吸キットを取付けて使用してください。故障の原因になります。
- ・本体を倒して使用しないでください。事故や故障の原因になります。

注意

- ・電源スイッチを入れる場合は、必ずガンのレバーを引き、ノズルを安全な方向に向けてからスイッチを入れてください。
- ・使用中に本体下部から少量の水漏れが発生することがありますので、設置場所に注意してください。
- ・自吸で溜水を使用するときは、ゴミ、砂など混じった水は使用しないでください。故障の原因になります。
- ・摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利、碎石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合には、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。
- ・ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。
- ・作業を行なう前に、高圧ホースはまっすぐに伸ばして使用してください。
- ・車の洗浄は、バリアブルノズルランスを拡散側にして使用してください。水圧により塗装面を傷めたり、ラジエターの破損、モールなどが剥がれる場合があります。

始動前の準備

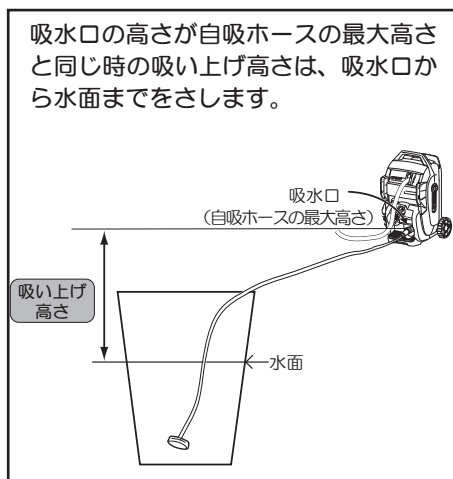
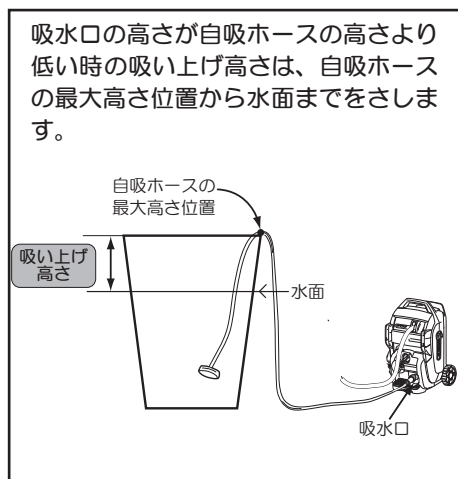
⚠ 注意

- ・ 自吸する水が汚い場合は予め、ろ過して異物（ゴミや砂、藻など）を取除いてから使用してください。異物がフィルター、ストレーナーに詰まると吐出圧力の低下および故障の原因になります。

● 自吸の吸い上げ高さについて

- ・ 吸い上げ高さは1mです。吸い上げ高さが1m以下になるように設置してください。
※ 1mを超える吸い上げ高さで使用すると故障の原因になります。

● 吸い上げ高さの考え方



① ストレーナーを水槽に入れます。



ゴミや砂など混じった水は使用しないでください。また、ストレーナーや自吸ホースに異物が付いていないことを確認してください。故障の原因になります。

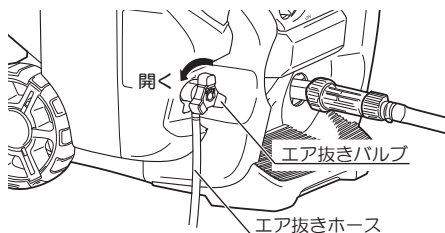
② エア抜きホースの先端を水槽に入れるか、ぬれても良い場所へ設置します。



使用方法（自吸で使用する場合）

③ エア抜きバルブを開きます。

- エア抜きバルブのノブを矢印方向に回して開きます。

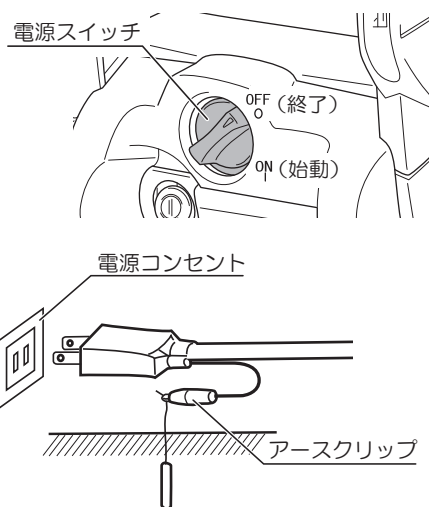


④ 電源スイッチ『OFF』を確認する。

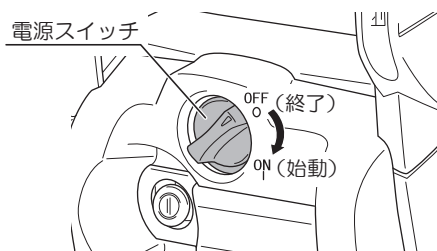
- 電源スイッチが『OFF』になっていることを確認して電源プラグを電源コンセント（単相交流 100V）にさし込み、アースを接地してください。



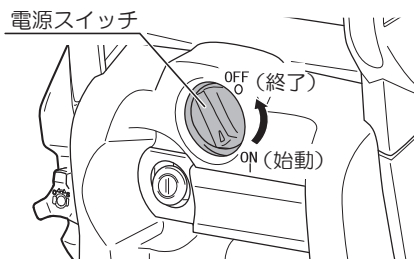
- 本機の周波数と使用する電源の周波数が一致していることを確認してください。
- できる限り延長コードを使用せず本体の電源プラグを電源コンセントに接続してください。延長コードを使用すると電圧降下が発生し、十分な性能を発揮しない場合があります。
- 延長コードを使用する場合は、23ページを参考にしてください。
- 本体の電源コードを強く引き過ぎるとコードが断線するおそれがあります。



⑤ 電源スイッチを『ON』にします。



- ⑥ エア抜きホースの先端より水が始
め、エア抜きホース内に気泡
がなくなったら電源スイッチを
『OFF』にします。

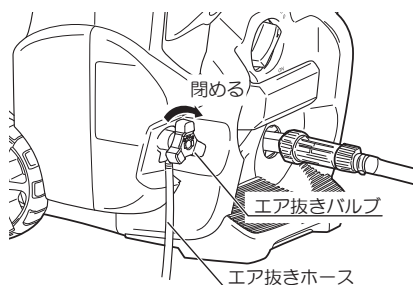


- ⑦ エア抜きバルブを閉めます。

- エア抜きバルブのノブを矢印方向に回して閉めます。



エア抜きバルブを閉じて、少量の水が出る場合があります。



ポンプ内に空気が残った状態で電源スイッチを『ON』にすると圧力が上がらない、モーターが停止しない場合があります。スイッチを切って、再度エア抜きの作業を行なってください。そのまま使用するとポンプが焼損するなど故障の原因になります。

使用方法（自吸で使用する場合）

始動する

① 高圧ホースを全て引出す。

② ガンのレバーのロックを解除する。

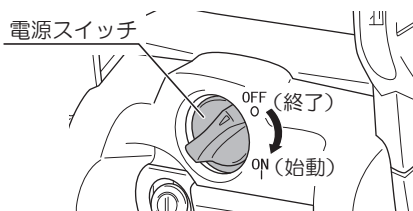
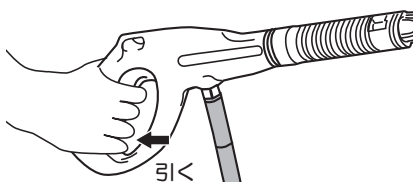
- ガンの安全ボタンを押して、ロックを解除します。



ロックがかかっているとレバーが引けません。



③ ガンのレバーを引いたまま、電源スイッチを『ON』にする。

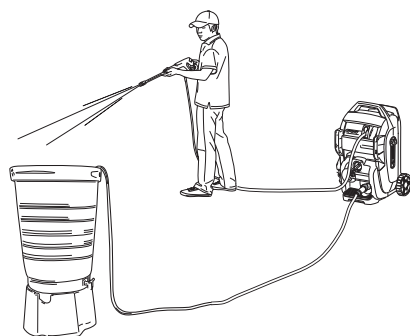


④ ガンのレバーを引いて洗浄作業をする。

- ガンのレバーを放すとモーターが停止します。再びレバーを引くとモーターが回転し、水を噴射します。（圧力スイッチ内蔵）



- 噴射開始時は、高圧ホース内に溜まった空気と一緒に放水されるため、水の出方が不安定になることがあります。その際は、安定するまで出し続けてください。
- 本体のそばを離れるときは、必ず電源スイッチを『OFF』にしてください。
- ガンのレバーを引いたり、放したりする操作は3秒以上の間隔をあけてください。3秒以下で操作すると圧力スイッチが誤作動する場合があります。



終了する

⚠ 警告

- ・作業を終了する場合は、万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ご使用後は速やかに水抜き作業を行なってください。
- ※本製品は水を利用してモーターを冷却しています。

ご使用後、本体が停止した状態では冷却水も循環しませんのでモーターの余熱等により、冷却水の温度が上昇する場合があります。内部の温められた冷却水はそのまま使用されますと外部へ吐出され、また、吸水コネクターから吸水ホースを外されますと、その瞬間、手にかかる場合もあります。

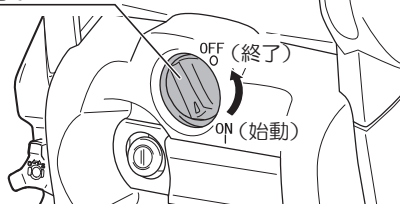
そのため、ご使用後は速やかに水抜き作業を行なっていただくようお願いします。

⚠ 注意

- ・長期保管または冬期は、本体、高圧ホース、ガン、ノズル内に残った水を排出してください。排出が不完全な状態で凍結する場所に保管すると、故障や破損の原因になります。

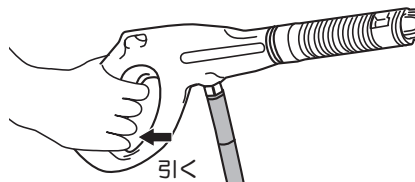
① 電源スイッチを『OFF』にする。

電源スイッチ



② ストレーナーを水槽より取出す。

③ ノズルの先端から水が出なくなるまで、ガンのレバーを引く。



⚠ 警告

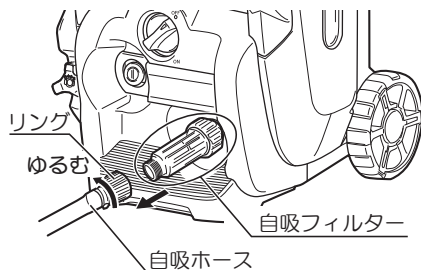
- ・万一の事故を防止するため、小休止する場合でも必ず①～③の動作を行なってください。

④ 自吸ホースを取外す。

- ・自吸ホースのリングを回してゆるめ、自吸フィルターより取外します。



自吸ホースのリングを回すときは自吸フィルターを持って作業してください。フィルターキャップがゆるんで水漏れの原因になります。



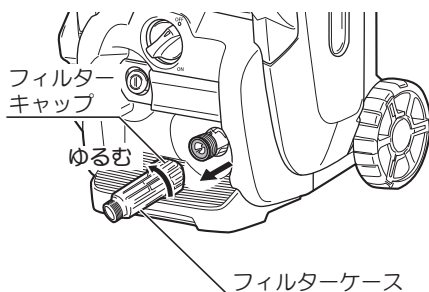
使用方法（自吸で使用する場合）

⑤ 自吸フィルターを取外す。

- 自吸フィルターのフィルターキャップを回してゆるめ、本体より取外します。



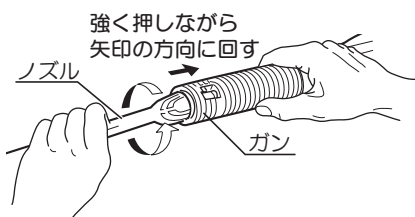
フィルターケースをつかんで回さないでください。フィルターキャップがゆるんで水漏れの原因になります。



⑥ エア抜きホースを抜く。

⑦ ガンの先端からノズルを取外す。

- ノズルをガンの方向へ強く押しながら矢印方向に回して、取外します。

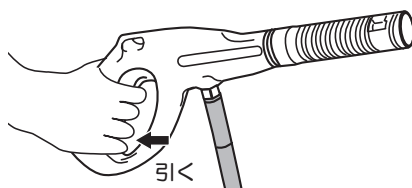


⑧ ガンから水が出なくなるまでガンのレバーを引く。

- ※ 電源スイッチを ON にして、高圧ホース内の水を出してください。

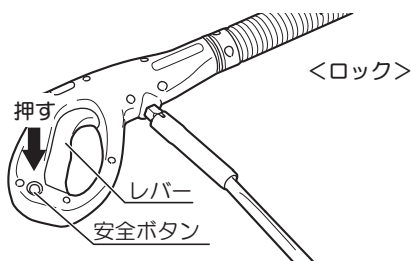


電源スイッチを『ON』にしたままにすると、故障の原因になりますので、水が出なくなったら速やかに電源スイッチを『OFF』にしてください。



⑨ ガンのレバーをロックする。

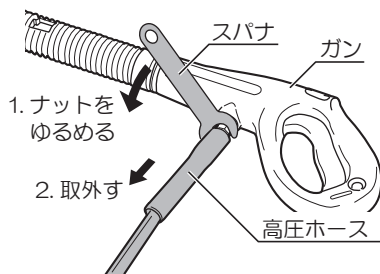
- ガンの安全ボタンを押して、レバーをロック（固定）します。



⑩ 電源コンセントから電源プラグを抜く。

11 ガンから高圧ホースを取外す。

- 高圧ホースのナットをスパナ（対辺 17mm）でゆるめて取外します。

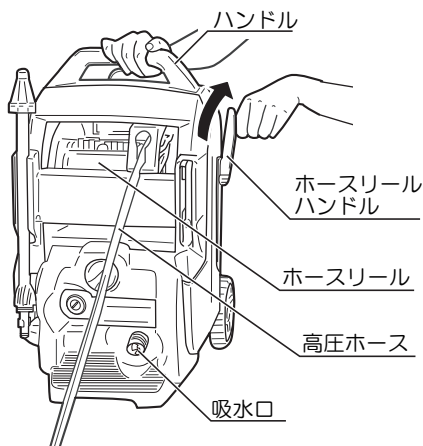


12 高圧ホースを巻取る。

- 高圧ホースの先端をホースリールより低い位置にし、高圧ホース内に残った水を出しながら高圧ホースを巻取ります。



- 本体が倒れないようにハンドルをしっかりと押さえて、巻取ります。
- 高圧ホースのよじれを戻してから巻取ってください。



13 本体の水抜きをする。

- 本体装着のフィルターを取外し、本体を傾けて内部に残った水を吸水口より排出します。（フィルターの取外しは、41 ページ『●フィルターの清掃について』参照）



14 本体装着のフィルター、自吸フィルター、ストレーナー を清掃する。 （41 ～ 42 ページ参照）

- 清掃後は、本体装着のフィルターは吸水口に取付けてください。

操作方法

⚠ 注意

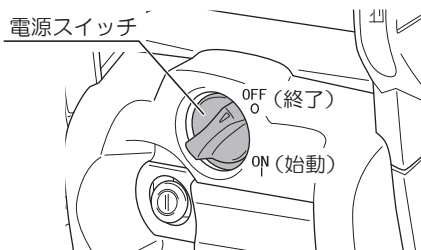
- ・ 付属品を交換するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 直噴洗浄（37 ページ参照）の時は高圧の水が噴射されるため、対象物によっては損傷が生じるおそれがあります。目立たない所で試してから使用する、ノズルからの距離を置いて様子を見ながら洗浄するなど慎重に作業してください。

●スイッチ操作

⚠ 警告

- ・ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示（100V）以外の電圧で使用すると過電圧による発熱、火災の原因になります。
- ・ 電源スイッチを入れる場合は、必ずノズルの噴射口が人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向いていないことを確認してから行なってください。けがの原因になります。

- ・ 電源スイッチを回して『Ⅰ』（ON）位置に合わせると電源が入り、『Ⅱ』（OFF）位置に戻すと切れます。



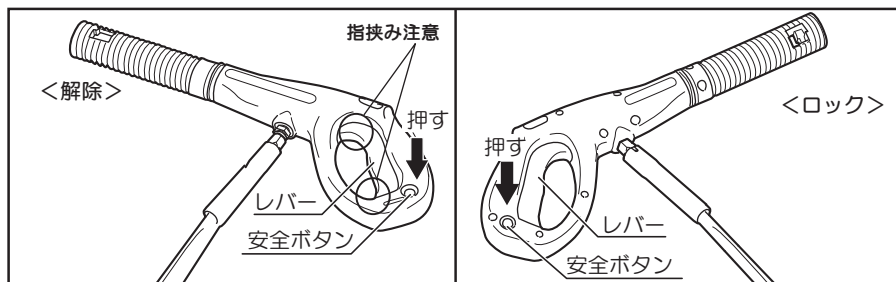
●ガンの扱い方

⚠ 警告

- ・ガンのレバーを操作するときは、レバーの中央位置で操作してください。レバーの端で操作すると指を挟んでけがをする原因になります。
- ・使用しないときは、安全ボタンを押してレバーをロック（固定）してください。

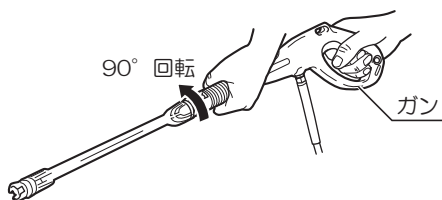
- ・レバーを引くと水が噴射し、放すと停止します。
- ・ガンの安全ボタンは不意な作動を避けるためのものです。
レバーをロック（固定）するとレバーを引くことができません。
安全ボタンを下図の矢印方向に押すと、レバーをロックまたは解除することができます。

※ 安全ボタンが押せない場合は、レバーを引出してから、再度安全ボタンを押してください。



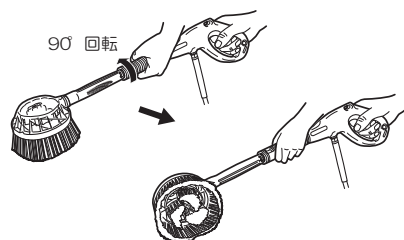
<拡散方向の変更>

- ・ガンの先端を 90° 回転することができます。
作業時、バリアブルノズルランスの拡散方向を右図のように変えることができます。



ノズルを取付けた後にノズルを引っ張って抜けないことを確認してください。
ノズルを押込んだ状態で回すと外れます。

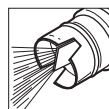
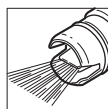
別販売品のブラシの場合



拡散（横）



拡散（縦）



操作方法

●ノズルランス

⚠ 警告

- ・ノズルランスをガンに接続している状態でノズルの先端をのぞき込まないでください。高圧水によりけがをするおそれがあります。

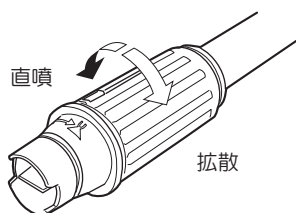
(バリアブルノズルランス)

噴射角(直噴⇄拡散)の切換え

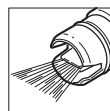
- ・ノズルの先端を右図矢印方向に回すと、「直噴」、「拡散」に切換わります。

直噴洗浄…… 水流が直線上に噴射します。こびり付いた汚れに適しています。

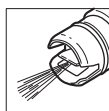
拡散洗浄…… 水流が扇状に広がって噴射されます。バイク、車などの洗浄や泥落としに適しています。



拡散



直噴



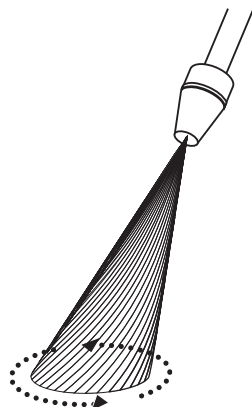
- ・拡散角の調整は、あらかじめ直噴の位置にしてガンのレバーを引き、水を出しながら必要な角度までノズルの先端を回してください。
- ・最も拡散方向に回してガンのレバーを引くと水が横方向に飛ぶ場合があります。周囲の状況に十分注意して洗浄作業を行ってください。

(ターボノズルランス)

- ・ターボノズルランスを使用すると、水が回転しながら噴射され、洗浄効率がUPします。

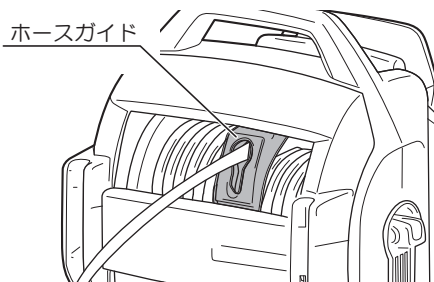


ターボノズルランスは直噴のみです。強力ですので、壊れやすいもの、剥がれやすいもの、自動車の洗浄などへの使用は避けてください。



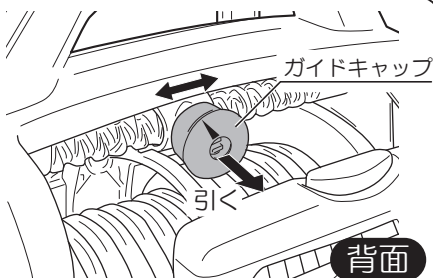
●ホースガイド

- ・本機には高圧ホースをきれいに巻取るためのホースガイドが付いています。
乱巻きのないスムーズな巻取りが行なえます。



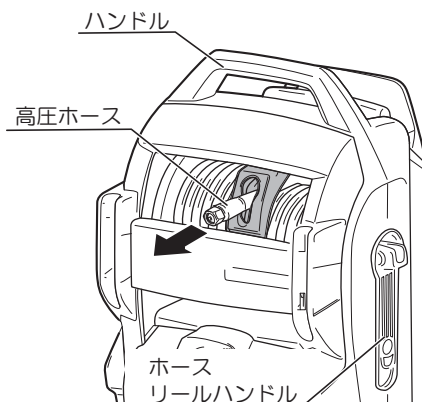
ホースガイドの位置合わせ

- ・ホースガイドの位置合わせができます。
背面のガイドキャップを手前に引いたまま、左右に動かします。



●高圧ホースの引出し

- ・ホースリールハンドルを収納したまま、本体のハンドルをしっかりと押さえ、高圧ホースを引っ張って引出します。

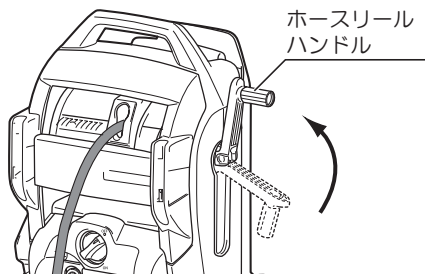


操作方法

●高圧ホースの巻取り

①ホースリールハンドルを取出す。

- ・ 矢印方向にホースリールハンドルを起こします。

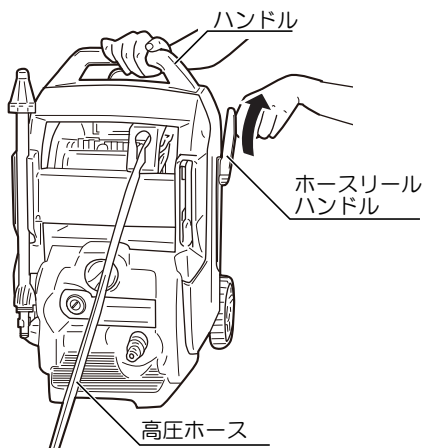


②高圧ホースを巻取る。

- ・ 本体のハンドルをしっかり押さえ、ホースリールハンドルを矢印方向に回して巻取ります。

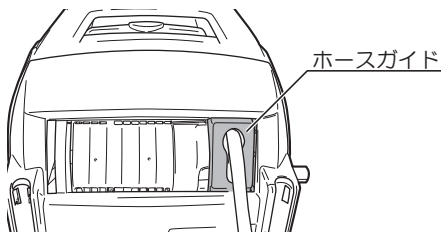


高圧ホースのよじれを戻してから巻取ってください。



高圧ホースの巻取りがきれいにできない場合

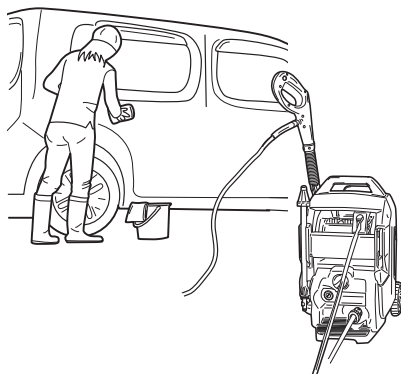
1. 高圧ホースを全て引出す。
2. ホースガイドを右図の位置にして、巻取りを開始してください。
(38 ページ『●ホースガイド』参照)



③ホースリールハンドルを収納する。

●仮置きスタンド

- ・作業を中断した時、ガンをサッと置くことができます。



●伸縮ハンドル

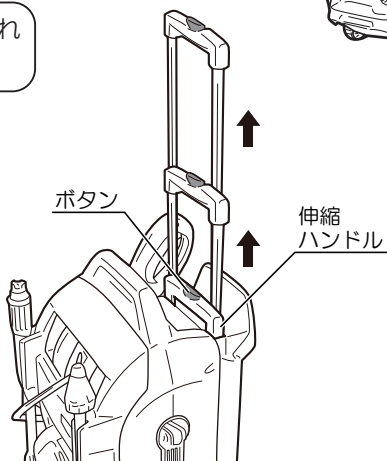
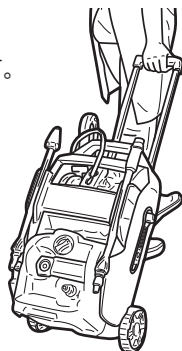
- ・本機には移動に便利な伸縮ハンドルが付いています。
伸縮ハンドルを引出して、イラストのように移動することができます。

(ハンドルの伸縮)

- ・ボタンを押した状態で、伸縮ハンドルを引出します。
伸縮ハンドルは全て引出して使用してください。
- ・収納の際は、ボタンを押した状態で押し込みます。



伸縮ハンドルが確実に固定されたことを確認してください。



保守と点検

⚠ 警告

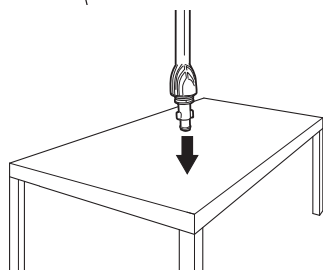
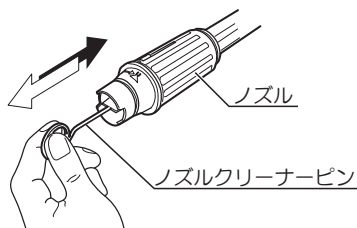
- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

●ノズル点検・清掃

- ・ 付属品のノズルクリーナーピンで定期的にノズル穴の清掃を行なってください。
- ・ ノズルクリーナーピンをノズルへ挿入した後、ノズルの取付け側を下にして2～3回軽く机などへ叩いて内部の異物を排出してください。ノズル穴が詰まっていると水の圧力が弱くなったり、圧力スイッチが誤作動します。



ノズルが詰まっているかどうかは、必ずノズルをガンから取外した状態でノズル穴をのぞき込み、穴が通じているかを確認してください。ノズル穴の清掃は必ずガンから取外して行なってください。



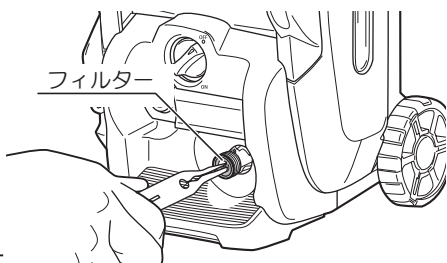
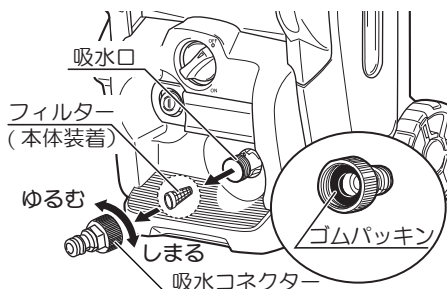
●フィルターの清掃について

1. 吸水コネクターをゆるめ、取外します。
2. 吸水口に取付けてあるフィルターをラジオペンチなどを使って取出します。
3. 取出したフィルターの編み目の詰まりやゴミを流水で洗って取除きます。
4. フィルターを元の位置に取付けます。
5. 吸水コネクターを本体に取付けます。

吸水コネクターは、吸水口と正しく平行になるように位置決めし、少しずつゆっくりねじ込んでください。(斜めの状態でねじ込むとお互いのネジが正確に噛み合わず、水漏れの原因になります。)



吸水コネクターを取付ける前に吸水コネクター内にゴムパッキンがあることを確認してください。ゴムパッキンがないと締付けても水漏れします。

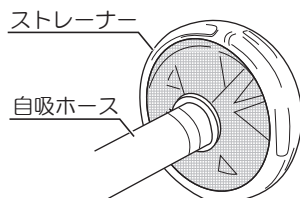


●ストレーナーの清掃について（自吸で使用の場合）

- ・ 編み目の詰まりやゴミを流水で洗って取除きます。



ストレーナーが目詰まりしていると吐出圧力低下の原因になります。

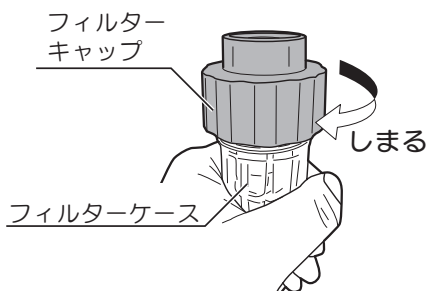
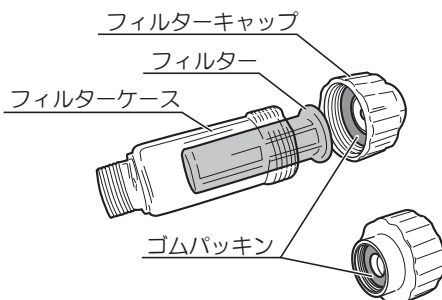


●自吸フィルターの清掃について（自吸で使用の場合）

1. フィルターキャップを外し、フィルターケースよりフィルターを取出します。
2. 取出したフィルターの編み目の詰まりやゴミを流水で洗って取除きます。
3. フィルターをフィルターケースに戻し、フィルターキャップを取付けます。



- ・ フィルターキャップの内側と外側にあるゴムパッキンをなくさないように気をつけてください。
- ・ フィルターキャップを取付ける際は、フィルターがフィルターケースに正しく組込まれている（ケース端面からフィルターが飛び出していない）ことを確認し、ケースを手で垂直（フィルターキャップが上側）に持ってフィルターキャップを取付けてください。フィルターが正しく組込まれていないと、水漏れや自吸できない症状が発生します。
- ・ フィルターが目詰まりしていると吐出圧力低下の原因になります。



保守と点検

●ポンプオイルの交換

⚠ 警告

- ・運転直後はポンプおよびポンプオイルは高温になっていますので、やけどのおそれがあります。十分冷えてからオイルの交換を行ってください。
- ・ポンプオイルは出荷時に給油してあります。
- ・オイルの交換は下記の時間を目安に励行してください。
初回 …………… 30 時間 2 回目以降 …………… 300 時間
- ・初回交換時は付属品のオイルを使用し、2回目以降より当社純正のオイルをお買い求めのうえ、交換してください。

(交換方法)

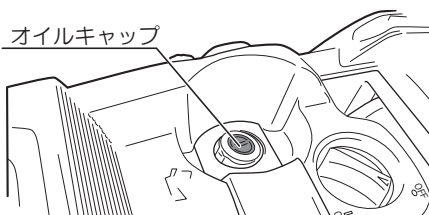


本体内のオイルを完全に抜き取ってから、オイルを1本分（100mL）を全て注入してください。オイルを入れ過ぎると故障の原因になります。

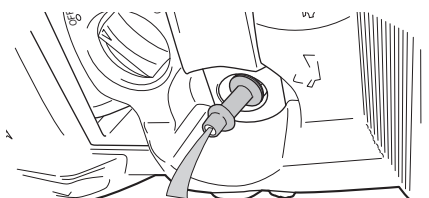
1. 本体を後方に倒し、オイルキャップをコイン（500 円玉）などでゆるめて取外します。



本体を立てた状態でオイルキャップを取外すと、給油口からオイルが流れでることがあります。



2. 給油口にオイルノズルを取付けます。
3. 給油口を下方に向けて、オイルを全て排出します。
4. オイルノズルを取外します。
5. 本体を後方に倒して、給油口から新しいオイル（100mL）を給油します。
6. オイルキャップを取付けます。
オイルキャップは確実に締付けてください。

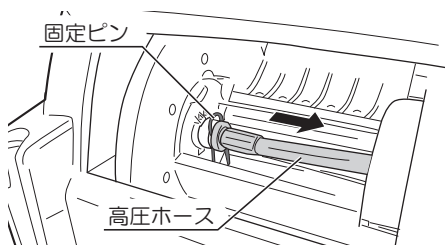
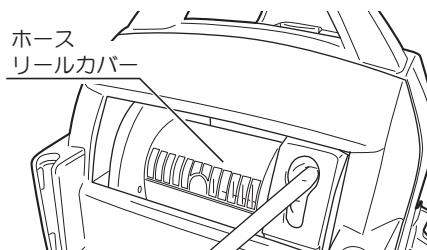


●高圧ホースの交換方法

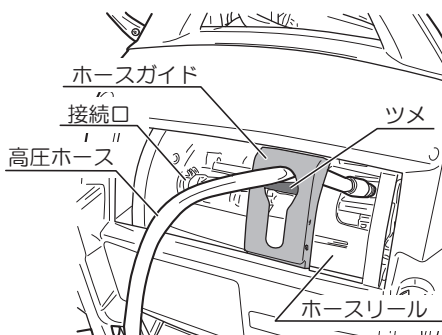
・高圧ホースは消耗品です。高圧ホースが破損した場合は、下記の手順で交換してください。

(交換方法)

1. 高圧ホースを全て引出す。
2. ホースリールカバーを開く。
3. 高圧ホースを取外す。
 - ・固定ピンを抜取り、高圧ホースを矢印方向に引抜きます。

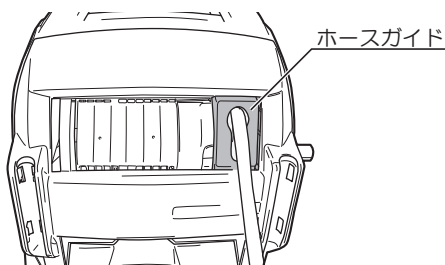


4. 新しいホースを取付ける。
 - ・ホースガイドのツメを下げ、ホースガイドの穴に高圧ホースを通します。
 - ・ホースリールの穴に高圧ホースを通し、接続口側に引っ張ります。
5. 高圧ホースを接続口に固定する。
 - ・高圧ホースを接続口にしっかりさし込み、固定ピンをさし込んで固定します。



高圧ホースを引っ張って、抜けないことを確認してください。

6. ホースリールカバーを閉じる。
7. ホースガイドを右図の位置にする。
(38 ページ『●ホースガイド』参照)
8. 高圧ホースを巻取る。
 - ・ホースリールハンドルを回して、高圧ホースを巻取ってください。
(39 ページ『●高圧ホースの巻取り』参照)



保守と点検

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。
もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

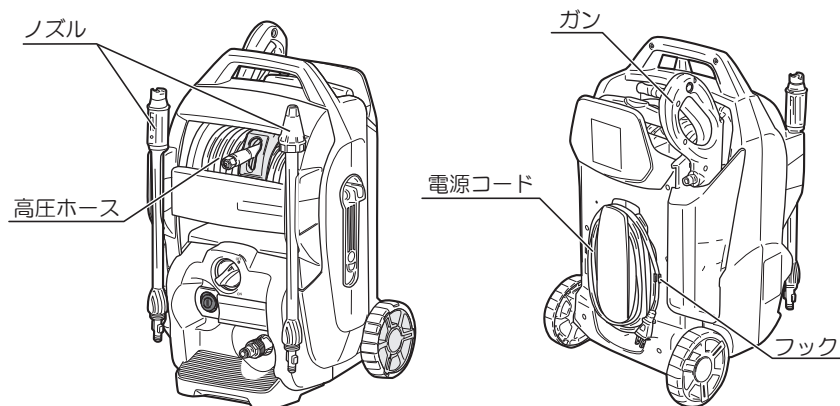
●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
- ・その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

収納

●収納位置

- ・本機を保管する際は、付属品を図の位置に収納できます。
電源コードは先端部分をフックにはめ込んで固定してください。

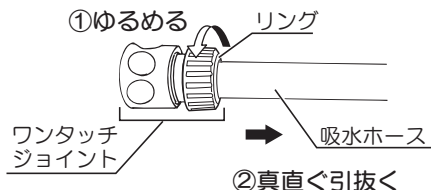


保管方法

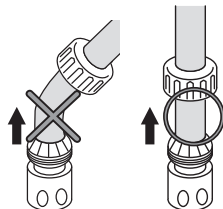
●保管

保管するには以下の事に注意してください。

- ・ 凍結に注意してください。
 - ・ 保管する場合は、ポンプ、ガン、高圧ホース内に残っている水を排出してください。
水が残っている状態で凍結する場所に放置すると、破損や故障の原因になります。
- ・ ほこりがかからない場所に保管してください。また、吸水口、吐水口にゴミが入らないようにして保管してください。
- ・ ワンタッチジョイントから吸水ホースを①②の手順で取外してください。水圧が上がってワンタッチジョイントが破裂したり、吸水ホースが破損する場合があります。



ワンタッチジョイントには弁が付いています。弁の破損防止のため吸水ホースを取外すときは、吸水ホースを曲げた状態で引抜かないでください。



〈凍結防止の方法〉

- ・ 『終了する』の手順に従って本体内部の水を十分排出してください。

水道水を使用した場合：20～22 ページ参照

自吸で使用した場合：32～34 ページ参照



- ・ スイッチを『ON』にしたままにすると、ポンプの焼損など故障の原因になりますので、速やかに『OFF』にしてください。
- ・ エア抜きバルブは開いた状態で保管してください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われたら、次のチェックリストにそって点検してください。

症 状	原 因	処 理
スイッチを入れても動かない。	電源コンセントが電源プラグから抜けている。	電源プラグを電源コンセントへ差し込んでください。
	延長コードが切れている、または断線している。	延長コードを取り替えてください。
	ご家庭のブレーカー（過負荷保護装置）のスイッチが入っていない。	ブレーカーのスイッチを入れてください。
水の圧力が低い。 （水の勢いが弱い。） （水が息継ぎしたような出方をする）	タコ足配線をしている。他の電気製品と同時に使用している。	定格 15A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。
	指定された延長コードを使用していない。	延長コードを使用する場合は、P12、P23 で指定された延長コードを使用してください。
	水量が不足している。	水道の蛇口を全開にしてください。十分な水量を確保できる蛇口を使用してください。
	吸水ホースが折れて本体へ水が供給されていない。	吸水ホースが折れないように真直ぐ設置してください。
	吸水ホース内に空気を噛み込んでいる。	吸水ホース内の空気を排出してください。
	バリアブルノズルランスのノズルに異物が詰まっている。	P41『●ノズルの点検・清掃』の説明に従って異物を除去してください。
	吸水フィルターが詰まっている。	P41『●フィルターの清掃について』の説明に従って異物を除去してください。
	水漏れしている。	水漏れ位置を確認して処置してください。
	ノズルが摩耗している。	ノズルを交換してください。
	異物がポンプ内部へ入った。	使用を中止し、販売店へご相談ください。
	自吸式の場合 ストレーナーが水に浸かっていない。（吸水すれば水槽の水は低下するので、使用前はストレーナーが水没していても、使用中に水位が低下してストレーナーが水へ浸かってない状態になることがある）	ストレーナーを完全に水没させてください。
	自吸式の場合 ストレーナー、自吸フィルターが目詰まりしている。（フィルターの1/4程度目詰まりすると水圧が急激に低下します。）	ストレーナー、自吸フィルター、吸水フィルターを清掃してください。また、自吸の水が汚い場合は予め、ろ過してゴミを取除いてから使用してください。
	自吸式の場合 エア抜きバルブが閉じられていない。	エア抜きバルブをしっかりと閉めてください。
	オイルが適量（100mL）以上入っている。	オイルを全て排出して、純正オイル（100mL）を給油する。

症 状	原 因	処 理
蛇口 - 吸水ホース接続部から水漏れする。	ホースバンドが変形している。	ホースバンドを交換してください。
	吸水ホースに傷が付いている。	吸水ホースを交換してください。
吸水ホースーワンタッチジョイント接続部から水漏れする。	ワンタッチジョイントが破損している。	ワンタッチジョイントを交換してください。
	吸水ホースに傷が付いている。	吸水ホースを交換してください。
ワンタッチジョイントー吸水コネクター接続部から水漏れする。	ワンタッチジョイントが破損している。	ワンタッチジョイントを交換してください。
	吸水コネクターが破損、またはネジ山が傷んでいる。	吸水コネクターを交換してください。
	吸水コネクターのＯリングが劣化している。	Ｏリングを交換してください。
	吸水コネクターとワンタッチジョイントが正しく接続されていない。	P15『●吸水コネクターにワンタッチジョイントを取付ける』の説明に従って正しく接続してください。
吸水コネクターー本体接続部から水漏れする。 (本体底から水漏れしているように見える場合があります。)	吸水コネクターが破損、またはネジ山が傷んでいる。	吸水コネクターを交換してください。
	吸水コネクター内のパッキンがない。	パッキンを取付けてください。
	吸水コネクターが締まっていない、または斜めに締めこまれている。	P41『●フィルターの清掃について 5.』の説明に従って正しく吸水コネクターを締めてください。
本体内部から水漏れする。	ポンプの焼損、凍結	使用を中止し、販売店へご相談ください。
高圧ホースから水漏れする。	高圧ホースの変形、破裂	高圧ホースを交換してください。
本体ー高圧ホース接続部から水漏れする。	Ｏリングの切れ、劣化	Ｏリングを交換してください。
ガンーノズル接続部から水漏れする。	Ｏリングの切れ、劣化	Ｏリングを交換してください。
	ノズルの破損	ノズルを交換してください
ご家庭のブレーカー（過負荷保護装置）が作動している。	タコ足配線をしている。 他の電気製品と同時に使用している。	定格 15A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。
	指定の電圧、定格の電源を使用していない。	指定の電圧、定格の電源コンセントを使用してください。
ガンのレバーを放してもモーターが止まらない。	水量が不足している。	水道の蛇口を全開にしてください。
		十分な水量を確保できる蛇口を使用してください。
	吸水ホースが折れて本体へ水が供給されていない。	吸水ホースが折れないように真直ぐ設置してください。
	自吸式の場合 エア抜きバルブが閉じられていない。	エア抜きバルブをしっかりと閉めてください

故障かなと思ったら

症 状	原 因	処 理
モーターが起動しない。	ノズルに異物が詰まっている。	P41『●ノズルの点検・清掃』の説明に従って異物を除去してください。
水の圧力が安定していない。 モーターが脈動する。	利用する地域の周波数と本機の周波数が一致していない。	本機の周波数にあった地域でご利用ください。
ガンのレバーを引かないのにモーターが一瞬起動する（5 分間隔以内）	ポンプ内部の圧力漏れ。	概ね 5 分以上の間隔であれば問題ありません。短時間でこの現象が発生する場合は販売店へご相談ください。
	自吸式の場合 エア抜きバルブが閉じられていない。	エア抜きバルブをしっかりと閉めてください。
ガンのレバーが引けない。	ガンの安全ボタンが掛かっている。	ガンの安全ボタンを解除してください。
自吸できない (水を吸い上げない)	ストレーナーが水に浸かっていない。 (吸水すれば水槽の水位は低下するので、使用前はストレーナーが水没していても、使用中に水位が低下してストレーナーが水へ浸かっていない状態になることがある)	ストレーナーを完全に水没させてください。
	自吸吸い上げ高さが 1m 以上ある。 (吸水すれば水槽の水位は低下するので、使用前に 1m 以内の高さが使用中に水位が低下して 1m 以上の高さになることがあります。)	水槽へ水を追加するなどして、水の吸い上げ高さが 1m 以内になるようにしてください。
	ストレーナー、自吸フィルターが目詰まりしている。	ストレーナー、自吸フィルターを清掃してください。 また、自吸の水が汚い場合は予め、ろ過してゴミを取除いてから使用してください。
	エア抜きバルブが開いてない。	エア抜きバルブを開いてください。P29 ③参照
自吸フィルターから空気を吸込んだり水漏れが発生して、自吸しない	自吸フィルターが正確に吸水口に取付けられていない場合があります。	P25～26『①吸水口に自吸フィルターを取付ける』の注意書き手順に従って、自吸フィルターを本体から取外した後、付け直してください。
	自吸フィルター内部のフィルターがずれて組込まれている	
バリアブルノズルランスが直進なのに吐水が広がる。	ノズルの詰まり	P41『●ノズルの点検・清掃』の説明に従って異物を除去してください。
異臭がする。		使用を中止し、販売店へご相談ください。

※これらのチェックを行なっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

QRコードまたはURLからご確認ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ



0570-666-787

受付時間：

月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、QRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名		AJP4210GQ		製造番号（表示位置は「●各部の名称」をご確認ください）	
お客様	お名前				
	ご住所 〒				
			電話 （ ）		
お買い上げ日			保証期間（お買い上げ日より）		
年 月 日			1年		
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号				

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品やアクセサリを使用したことによる故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の浸入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用損耗および経時変化による外観の劣化（塗装、メッキ、などの自然退色、高圧ホースのひび割れなど）
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 付属品、別販売品、消耗品の場合。（パッキン、Oリング、バルブ、チューブ、吸水ホース、高圧ホース、油脂類およびこれらに類する消耗品）
 - 外観など、使用に際し品質、機能に関連しない部分に損傷がある場合。（音、振動、1分当たり数滴の水漏れ、オイルのにじみなど）
 - 商品分解状態でのお持ち込み
 - 薬品、塩害などに起因する不具合
 - 気温の低下に伴う不具合（凍結させた場合の損傷、高圧ホースのパンクなど）
 - 本機を使用して生じた破損などの修復費およびそれに付随する費用など
 - 水道水以外の水の使用や吸水ホース内の異物によりポンプが故障した場合
 - 使用頻度を問わず、保証書の有効期限が過ぎた場合
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

